

学園交流会 (10/1)

今年度の学園交流事業として、中学3年生が母校を訪れ、小学校高学年との交流活動を行いました。(昨年度はモザイクアートを制作しました。)生徒会本部役員が司会進行を努める形で、レクリエーションや小グループによる座談会を通して、児童生徒間の親睦を深め、中学校生活について知ってもらう良い機会になりました。



袋井南小



高南小



学級練習スタート (10/2)

11月7日に行われる南風祭合唱の部に向けて、放課後の学級練習が始まりました。練習初日は、目標をみんなで共有するクラス、パートごとに話し合って練習を進めるクラス、早速全体で合わせるクラスなど、様々な姿が見られました。今年度は、練習期間の中で、縦割りクラスによるパート練習や交換合唱もそれぞれ計画されており、最上級生としての役割も例年以上に多くなると思います。各クラスで掲げた目標に向けて、実行委員やパートリーダーを中心に、素晴らしい合唱を作り上げていくことを期待しています。



↑ 3-1 (パート練習)

↓ 3-3 (目標設定と共有)



↑ 3-2

(体育館で合唱)

← 3-4

(教室で合唱)

3-5 →

(パート練習)



「ありのまま」ステージに入りました！

先輩たちから受け継いだ生徒会活動の中心的役割を担ってあと1か月で1年が経とうとしています。“南中の顔”として修学旅行や南風祭体育の部をはじめとした学校行事での姿や、日々の学校生活や授業に取り組む様子も最上級生として板に付いてきました。卒業後の進路について、自分の意志を明確に持ち始めている様子も伺えます。

10月から第3ステージとなる「ありのまま」の期間に入ります。南中が掲げる「ウェルビーイング」の実現に向けたキーワードの一つです。これまで様々なことに挑戦し、たくさんの成果を挙げてきました。時には納得のいかない結果になったり、失敗したりすることもありましたが、それらも含めてチャレンジした自分自身を認めてほしいと思います。周囲の様子を気にしすぎて自分らしさを発揮できず、窮屈な思いをすることはもったいないと考えます。1か月後の南風祭合唱の部に向けた練習期間は「ありのまま」を体現する絶好の機会です。学年としても、結果ではなく、行動することを自他が認められるような雰囲気が形成されるように働きかけていきますので、御家庭でもお声掛けをお願いします。

10月は進路実現に向けてのターニングポイント

「勝者の条件 10か条」

- 1 勝者は、不満があってもじっと我慢し、謙虚に受け止め、
敗者は、不満を口や態度に出し、まわりを巻き込む。
- 2 勝者は、自らやろうと思うため、見られていなくてもしっかりでき、
敗者は、やらされているため、見られていなければ手を抜く。
- 3 勝者は、目的意識がはっきりしているため、集中力が高く、
敗者は、余計なことに意識が散らばり無駄話が多い。
- 4 勝者は、互いに厳しく、勝つために強くなることを目的とし、
敗者は、仲良くあたりさわりなく練習することを目的とする。
- 5 勝者は、何をやっても緻密に徹底しており、
敗者は、何をやっても中途半端である。
- 6 勝者は、自らの人間力を高めるために、日常生活がしっかりしており、
敗者は、そんなの関係ないと言う。
- 7 勝者は、自己管理がしっかりしているため、健康的な生活が当たり前であり、
敗者は、体調が悪くて休むことを繰り返し、いつしかそれが当たり前になる。
- 8 勝者は、自主練習で、各自の課題解消に真剣に取り組み、
敗者は、全体練習が終わったらすぐ帰る。
- 9 勝者は、少しでも多く練習したいため、間の行動が早く、
敗者は、行動が遅くリズムも悪い。
- 10 勝者は、向上心があるため、例え優勝してもまだまだだと思い、
敗者は、少し勝つと満足する。



これはある高校の野球部のトイレに掲示されていたものです。「勝者」を「納得のいく進路実現ができる者」に置き換えてみると、受検生としての3年生にも通じる項目がたくさん出てきます。この時期だからこそ、自身の“当たり前”が適切なのかどうかを見つめ直してみることも必要だと思います。

希望制三者面談について

10月17日から1週間、希望された御家庭との三者面談を実施します。通知では16日からとなっていたのですが、全体会議が入ったため、原則として17日からとさせていただきます。ご了承下さい。なお、面談期間外であっても、進路に関して相談を希望される場合は、学校に連絡をいただければ、適宜対応をさせていただきます。